

3D映像 を スコア化します

立体視度計測システム

- 立体映像 視聴時の あらゆる目の動きを計測し、記録します。
- 3D映像の立体感を採点します。

視差・視差角・輻輳などの値・変化の緩急度合などを計測・記録すると同時に、各種指標を算出しますので、様々な用途にお使い頂けます。

- 3D映像の立体感の点数化
- 他の映像コンテンツとの点数比較
- 3Dモニターの評価
- 3D映像製作時の評価
- 視聴者の眼精疲労度などの計測
- 3D映像コンテンツの安全性の確認
- 「映像酔い」等の研究
- 視力矯正ソフト等の開発

NEWOPTO

立体視度計測システム

立体映像を視聴した時の実際の眼球運動を動的に計測するシステムです。

測定できる項目

- 瞳孔間隔
- 左右の眼球の動きと緩急度合
- 左右の瞳孔径
- 輻輳角
- 左右眼の開散の有無
- ディスプレイなどを基準とする視差
- 各種指標を基準としたスコア
- その他、ご要望でカスタマイズ可能

用途

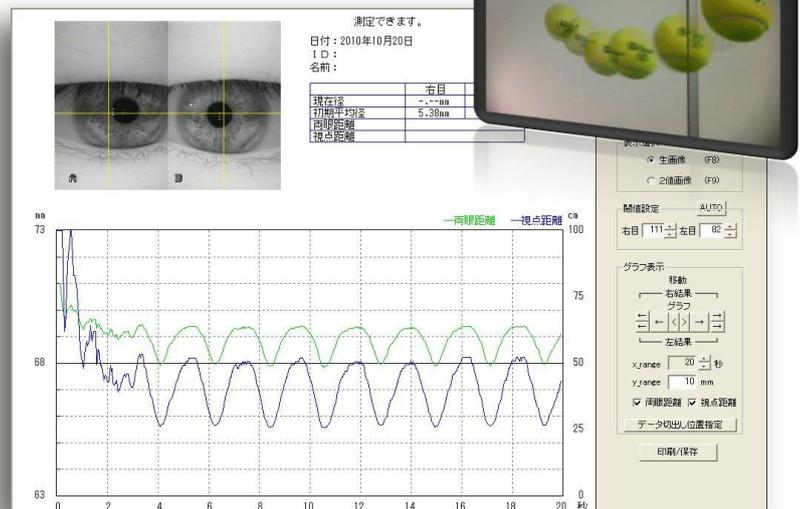
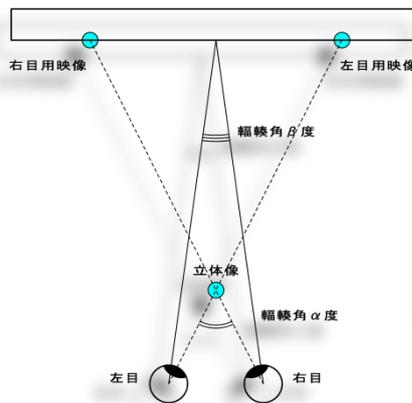
- ガイドラインなどに対する達成・超過度合の測定
- モニターやコンテンツの比較評価や安全性の目安の測定
- 3D に対する視聴者の適正度合いや、疲労度合いの判断
- 視力矯正など 3D の新しい使用分野の開発
- 各種研究の実測資料の収集や検証

基本原理

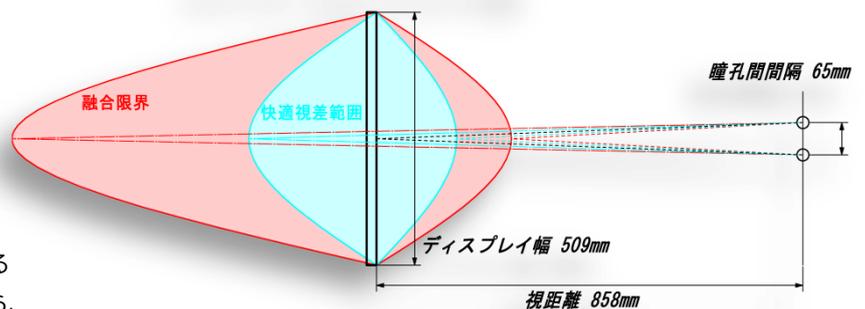
1. 基準の瞳孔位置をキャリブレーションし、ディスプレイの輻輳角 β を算出します。
2. 3D 映像の視聴をしながら、瞳孔の動き、瞳孔径を測定します。
3. 同時に、輻輳角、注視地点などを計算し、必要に応じてソフト上に表示します。

使用例

ディスプレイやコンテンツを視聴した場合に「快適視差範囲」や「融合限界」に対し、視聴者が実際に視認している場所を実測確認する事が出来ます。境界を越える頻度や、時間などから、疲労度、快適性などを予測するのに役立ちます。



23インチ 3Dディスプレイの例



製造元

代理店

株式会社ニューオプト
<http://www.newopto.co.jp>

〒214-0021
神奈川県川崎市多摩区宿河原2-28-18
TEL 044-932-1401 FAX 044-932-2848
MAIL info@newopto.co.jp

Ver10.1004